



平成27年度(第70回)文化庁芸術祭参加公演

# 小林菜美

ソプラノリサイタル

～ポーリーヌ・ヴィアルド・ガルシアの世界を訪ねて～II



Nami Kobayashi Soprano Recital

- The World of Pauline Viardot = Garcia - II

小林菜美 ソプラノ

Nami KOBAYASHI, Soprano

寺嶋陸也 ピアノ

Rikuya TERASHIMA, Piano

立川和男 フルート

Kazuo TACHIKAWA, Flute

I 部

ポーリーヌ・ヴィアルド・ガルシア (1821-1910) Pauline Viardot Garcia

《アイ・リュリ!》 Hai luli!

《王女の歌》 Canción de la Infante

《カデイスの若い娘たち》 Les Filles de Cadix

「12の歌曲集 (フランス語版/日本初演)」より

《花》 Fleur desséchée

《2つの薔薇》 Les deux roses

ショパン (1810-49) CHOPIN

ピアノソロ 《マズルカ 第17番 作品24の4》 Mazurka No.17 Op.24 Nr.4

ショパン: 作曲、ポーリーヌ・ヴィアルド・ガルシア: 編曲

CHOPIN: compose, Pauline Viardot Garcia: arrange

《16歳》 Seize ans

《別れ》 Séparation

《子守唄》 Barceuse (日本初演)

《もろい心》 Faible coeur! (日本初演)

II 部

マルトゥッチ (1856-1909) Marutucci

《追憶の歌》 "La canzone dei ricordi"

ドニゼッティ (1797-1848) Donizetti

歌劇「ランメルモールのルチア」より

《あの方の優しい響きが～香炉がくゆり》 (狂乱の場)

「Lucia di Lammermoor」 「Il dolce suono～Ardon gl' incenshi」

2015年11月3日 [火・祝] 開演 14:00 (開場 13:30)

東京文化会館 小ホール (上野駅公園口)

全席自由 4,000円

※就学前のお子様のご入場、ご同伴はご遠慮願います。

[チケット取扱い]

東京文化会館チケットサービス TEL 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/>

東京コンサーツ TEL 03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp>

※東京コンサーツホームページで予約、セブンイレブンで支払いと受け取りが出来ます。



主催: 小林菜美 制作協力: MDオフィス マネジメント・お問い合わせ: 東京コンサーツ TEL 03-3226-9755

# 小林菜美：ソプラノ

*Nami Kobayashi, Soprano*

国立音楽大学卒業。同大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオを優秀賞受賞し修了。1995年よりイタリアへ留学。天性の才能に加え、高い技術に裏打ちされた、伸びのある美声には定評があり、透明感を兼ね備えたリリコレッジロの次代を担う逸材として、高い評価を各方面から得ている。96年第27回日本イタリア声楽コンソルソ金賞受賞、98年第29回ベリーニ国際コンクール（イタリア）入賞。2000年第36回日伊コンソルソ第3位受賞、01年第1回ノーヴィ国際コンクール第1位優勝。ローマ、ルガーノをはじめイタリア各地、日本、アジアでコンサートを行い、その活動は国内にとどまらない。

01年12月バンコクにてパンアジアオーケストラにベートーヴェン「交響曲第9番」ソリストとして出演。宗教曲の分野から『フィガロの結婚』スザンナ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『ボッペアの戴冠』ボッペア、『夢遊病の女』アミーナ、『愛の妙薬』アディーナ、『カルメン』ミカエラ、『ランメルモールのルチア』ルチアなどオペラに出演。1997年国立音楽大学大学院創立30周年記念演奏会にてリサイタルを行い好評を博す。また2000年及び02年新国立劇場『サロメ』、2000年8月二期会オペラ『真夏の夜の夢』、01年新国立劇場・二期会共催公演『カルメン』、『ばらの騎士』、04年『エジプトのヘレナ』に出演。03年日本演奏連盟デビューリサイタルでは「フランス歌曲・アリア」をとりあげ、各紙好評を得る。03年10月、愛知県立芸術劇場にて栗園淳演出『椿姫』でヴィオレッタ役をつとめ、「的確な歌唱と情感溢れる演技」と各紙にて絶賛を博した。04年6月新国立劇場『友人フリッツ』スゼル役で主演し清純な村娘にぴったりの伸びやかな美声で演じたと、新聞各紙にて絶賛をあげる。最近では、二期会・日生劇場公演、オフエンバック『天国と地獄』でダイアナ役を好演する。07年CD『ああ、そはかの人か』をリリース。東京室内歌劇場モーツァルト『偽りの女庭師』で主演をつとめ新聞紙上で絶賛された。

国立音楽大学音楽研究所が取り組んでいるニーノ・ロータのオペラ公演『ノイローゼ患者の夜』（2013）、『運転教習所』（2014）を好演し、来年2015年『フィレンツェの麦わら帽子』と連続して出演が決まっている。

2011年、2012年イタリア各地での音楽祭に宗教曲ソリスト及びリサイタルに出演。昨年6月キューバにて日本修好400年記念ガラコンサートに出演し、いずれも新聞にて大絶賛された。また、ベルカントの声楽作品、ニーノ・ロータの声楽作品に関する論文も多数発表。

現在、二期会会員、国立音楽大学非常勤講師。

# 寺嶋陸也：ピアノ・作曲

*Rikuya Terashima, Piano, Compose*

1964年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での演奏や、97年東京都現代美術館でのボンビドー・コレクション展開催記念サティ連続コンサート「伝統の変装」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタングルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ演奏のほか、東京室内歌劇場やびわ湖ホールでのオペラ公演の指揮など、活動は多方面にわたる。オペラ『ヒト・マル』『ガリレイの生涯』『末摘花』、カンタータ『伊邪那岐・伊邪那美』、合唱ファンタジア『オホホ島奇譚』、ヴォードヴィル『タバコの害について』、『尺八・二十絃箏と管弦楽のための協奏曲』、合唱のための『詩篇第49番』『沖繩のスケッチ』、オーボエ・三味線と打楽器のための『異郷の景色』、古代復元楽器のための『大陸・半島・島』、朗読と箏、室内管弦楽のための『貝の火』など作品多数。「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD9026)、「二月から十一月への愛のうた(栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集)」(VIC61092)「寺嶋陸也plays林光」(NARD5034)など、多くのCDがある。

ホームページ <http://www.gregorio.jp/terashima/>

# 立川和男：フルート

*Kazuo Tachikawa, Flute*

東京芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。1979年日本フィルハーモニー交響楽団に入団、副首席を経て1995年から2006年まで首席フルート奏者を務めた。その正統的な演奏により、ジャン・フルネ、ネーメ・ヤルヴィ、ジャン＝ルイージ・ジェルメッティ、小林研一郎ら多くの指揮者から絶大な信頼を得た。これまでに宮本明恭、小泉剛、吉田雅夫、マルセル・モイーズの各氏に師事。現在、国立音楽大学教授、東京都立総合芸術高等学校講師、NHK文化センター講師、東京バッハ・カンタータ・アンサンブルメンバー、(一社)日本フルート協会代議員。